

53 就労移行支援（養成施設）の就業率向上に向けた取り組みについて

理療教育・就労支援部 名和宏明・澁谷公平・四ノ宮美恵子・新井秀信

【はじめに】

あはき師の国家試験は、毎年2月下旬に行われ、試験結果は、卒業後の3月下旬に発表される。利用者の就職活動については、これまで国家試験の結果発表後に本格化する傾向がみられた。

また、卒業学年に進級しても進路が定まっていない者も多く、あはき師としての就業イメージが持てていないことが、就職活動の開始時期を遅らせる要因の1つになっていると考えられた。

そこで就労相談室では、あはき師として就業イメージを持ち、就業意欲とモチベーションの向上を目的に、表1の流れのプログラムを作成し取り組むこととした。

【取り組み内容】

まず、卒業学年以外の全利用者を対象に就労支援講座を実施した。あはき師として各職域で活躍されている卒業生を講師として招き講話をいただくことで各職域のイメージをふくらませる。その上で、卒業学年進級予定者は職場見学を体験し、各職域の具体的な就業イメージをもつ。卒業学年に進級後は、就労支援講座において、あはき師の雇用などに精通している方や実際にあはき師を雇用している企業の採用担当者を講師として招き、あはき師の雇用情勢やあはき師の就職活動に関するテーマで講話していただき就業への意識とモチベーションの向上を図った上で、適性な業種選択に向けて職場見学を実施した。

その後、個別に進路面接を実施し、利用者の意向を把握し教官等と情報を共有した上で情報提供を行った。

【まとめ】

上記に記した一連の流れによりあはき師としての各業種へのイメージづくりに働きかけ、就業への意識づけとモチベーションの向上を図った。

また、あはき師の厳しい求人状況を伝えながら、個別に実施する最終的な進路面接でより詳細に意向を把握し、担当教官と情報を共有した上で、個別にマッチングを図った。

卒業生の就業率は、表2及び図1のとおりである。23年度就業率に変化がみられたが、これは従来の就労支援をベースに22年度より新たな取り組みの体制を整えて実践を繰り返し行ったことが一要因であると考えている。今後は、これらの支援体制を継続しながら、これまで以上に内容の充実を図り、就労支援に努めていきたい。

【表1 プログラム】

実施時期	11月～12月	3月	6月～7月	7月～8月	10月	10月以降
専門1年・高等1～3年	就労支援講座					
専門2年・高等4年		職場見学				
専門3年・高等5年			就労支援講座	職場見学	進路面接	就職活動

【表2 就業率】

種別	19年度		20年度		21年度		22年度		23年度	
	人数	就業率								
免許取得者	30	36.7%	21	33.3%	15	46.7%	16	37.5%	13	69.2%
卒業・修了生数	34	32.4%	22	31.8%	16	43.8%	23	26.1%	14	64.3%

